

(議事要旨 2) サステナビリティ基準委員会の活動状況

SSBJ の川西委員長より、SSBJ の最近の活動状況が説明された。

サステナビリティ基準諮問会議委員より次の意見が聞かれた。

- SSBJ の運営方針に異論はないものの、適用準備のためには将来的に基準開発のタイムラインを明らかにして欲しい。
- SSBJ の活動を高く評価したい。ISSB 公開草案へのコメント対応については、精力的に審議が行われ、各界の意見がバランスよく盛り込まれた。これに関する ISSB の議論では我が国の関係者の意見が多く取り入れられており、国際的な貢献も大きいと考えられる。また SSBJ の運営方針については、我が国のサステナビリティ開示基準の設定主体の法的位置付けに関する議論の足場を固めたものとなっている。今後、S1 及び S2 を日本基準に取り込むにあたっては企業会計基準委員会との連携も意識すべきと考える。
- SSBJ の位置付けや開発する基準の国際的な整合性を確保する取組みを紹介するコンパクトな資料があると国際的なメッセージの発信に役立つと考える。
- 非財務情報の開示について、有価証券報告書で開示が強制されるものと任意で開示するものとの間の線引きが、SSBJ の議論を通じて明確になっていくことを望む。

以 上